

指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模女子大学グリーンホール（相模原市文化会館）、小田急相模原駅文化交流プラザ
指定管理者名	公益財団法人相模原市民文化財団
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
施設設置条例	相模原市立文化会館条例、相模原市立小田急相模原駅文化交流プラザ条例
施設の設置目的	文化会館：市民が芸術文化を鑑賞し、及び文化活動を行う場を提供し、もって文化の香りあふれる都市の創造に寄与するため 小田急相模原駅文化交流プラザ：市民が行う参加、体験型等の多様な文化、交流活動などを通して、市民の文化の向上及び相互交流の促進に寄与するため
施設概要	<p>相模原市文化会館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 相模原市南区相模大野4-4-1 ・敷地面積 9,842.90㎡ ・延床面積 文化会館14,725.99㎡ 図書館3,723.92㎡ メディカルセンター3,787.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 地上5階地下1階 ・主な施設 1～4階 大ホール（1,790席または1,240席として利用可） 2階 多目的ホール（可変床 移動席240席） 地下1階 リハーサル室、練習室 <p>小田急相模原駅文化交流プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所在地 相模原市南区南台3-20-1 ・敷地面積 5,278.58㎡ ・延床面積 888.11㎡（うち文化交流プラザ専有面積489.73㎡） ・構造 鉄筋コンクリート造 地下3階地上4階（うち文化交流プラザ部分は4階） ・主な施設 多目的ルーム、ミーティングルーム1・2
施設所管課	市民局 文化振興課

2 管理実績

項目（単位）	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
利用者数合計（人）	239,405	300,426	339,114				
利用料金合計（円）	135,867,208	157,420,557	174,032,494				

3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>指標1と指標2の達成度の平均が104.4%となることから「A評価」とする。</p> <p>指標1の来場者満足度について、「満足」と回答した人に「やや満足」と回答した人を加えた割合は、98.6%と高い数値となっている。</p>

指標1	
指標名(単位)	企画提案文化事業来場者の満足度
指標式と指標の説明	指定管理者の企画提案で行う文化事業の来場者の満足度(「指定管理者が行う業務の詳細」に定める事業において回収された来場者アンケートのうち、最も高い満足度を回答した方の割合)を成果指標とする。

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	/	/	75.0	75.0	76.0	76.0	77.0
実績値(%)	78.5	74.4	83.7				
達成度(%)	/	/	111.6%				

※(参考) 2番目に高い満足度を含めた場合(満足+やや満足)

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
実績値(%)	98.1	97.9	98.6				

指標2	
指標名(単位)	相模原市文化会館(大ホール及び多目的ホール)、小田急相模原駅文化交流プラザ(多目的ルーム)の平均利用率
指標式と指標の説明	施設が利用されることにより、市民の鑑賞機会や活動機会が増加し、市民の文化活動が推進されるため、(利用区分数・利用可能区分数)にて算出された対象施設の利用率の平均を成果指標とする。

項目(単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値(%)	/	/	72.0	73.0	74.0	75.0	76.0
実績値(%)	68.5	67.8	70.0				
達成度(%)	/	/	97.2%				

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	達成度が125%となっていることから「S評価」とする。 事業の実施回数、内容ともに充実している。また、舞台操作等のノウハウを生かした自主事業も実施している。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
なし			/

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
ア 伝統文化や優れた芸術作品を鑑賞する機会を市民へ提供する舞台芸術公演事業 (16回以上/年)		相模原市文化会館：57回 小田急相模原駅文化交流プラザ：2回 計59回	◎
結成10周年ツアー 弦楽アンサンブル「石田組」	8月12日(月・休)	クラシック 文化会館 大ホール 定員 1,790 1回 1,693人	/
	神奈川フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスターのヴァイオリニスト、石田泰尚が率いる弦楽合奏団「石田組」の結成10周年を記念したツアー公演。優れた舞台芸術の提供を目的に実施。市民ニーズが高く、チケットは完売した。アンコールでは相模大野駅の列車近接メロディー「ワタリドリ」を演奏し、相模原のお客様に向けた演出を行った。		
相模原市市制施行70周年・グリーンホール相模大野開館35周年記念 NHK公開番組「新・BS日本のうた」	2月6日(木)	その他 文化会館 大ホール 1,790 1回 1,176人	/
	市制施行70周年及びグリーンホール相模大野開館35周年の記念事業として実施。人気番組の誘致により市民ニーズに応える市との連携事業。番組内では市の紹介とともに大風画像が大きく映し出されるなどの演出があり、シティブランドの向上に貢献した。		
おださがへ行こう！はじめて寄席2024	12月25日(水)	伝統芸能 おださが プラザ 多目的ルーム 120 1回 86人	/
	社のホール主催事業「さがみはら若手落語家選手権」との初の連携事業。アンケートでは「初めて施設に来た」と回答したお客様が多く、施設の知名度向上に貢献した。		
学校訪問授業番外編 ～おださがっこう Vol.1～	1月11日(土)	クラシック おださが プラザ 多目的ルーム 120 1回 115人	/
	本部事業「学校訪問授業」との初の連携事業。楽器紹介や各楽器の特色、演奏法等の解説を盛り込んだ授業形式の無料コンサート。市民の文化芸術に親しむ機会の充実を目的に実施。		

<p>イ 市民自らが芸術文化活動に参加し、相互に交流できる機会を提供するなどの市民の自主的な活動の支援に関する事業 (合計4回以上/年 ※イ~エの各事業を1回は実施すること)</p>		<p>相模原市文化会館：5回 小田急相模原駅文化交流プラザ：2回 計7回</p>					○
<p>相模原市市制施行70周年記念 第42回相模原市民合同演奏会</p>	12月15日(日)	クラシック	文化会館 大ホール	定員 1,790	1回	922人	/
<p>市制施行70周年記念事業として実施。電子オルガンやハーブ2台を加えた大規模な公演となった。市民に親しまれている団体の活動を支援するとともに、市民にクラシック音楽鑑賞の機会を提供した。</p>							
<p>ウ 次代の文化芸術を担う人材の育成に寄与する事業 (合計4回以上/年 ※イ~エの各事業を1回は実施すること)</p>		<p>相模原市文化会館：14回 小田急相模原駅文化交流プラザ：2回 計16回</p>					○
<p>エ 地域との連携や協働により文化芸術に関する催しを実施することで、地域コミュニティの活性化にぎわい創出に寄与する事業 (合計4回以上/年 ※イ~エの各事業を1回は実施すること)</p>		<p>相模原市文化会館：12回 小田急相模原駅文化交流プラザ：1回 計13回</p>					◎
<p>グリーンホール八起寄席すべしやる 相模原出身女流落語家三人の会</p>	10月28日(月)	伝統芸能	文化会館 多目的ホール	定員 240	1回	203人	/
<p>地元出身の女流落語家3名を応援する事業。「グリーンホール八起寄席」のスペシャル版として実施。マスコミの注目度が高く、全国紙やタウン誌で大きく取り上げられ、シティセールスにも寄与した。</p>							
<p>おださがロードフェスタ前夜祭 おださがミニ・ライブ2024 マホガニー & コア</p>	10月4日(金)	軽音楽	おださが プラザ 多目的ルーム	160	1回	121人	/
<p>地域の祭りとの連携事業として、街の賑わいに貢献することを目的に実施。杜のホール主催事業「橋本七夕まつりインナーガーデンライブ」出演のデュオアーティストを起用し、だれもが楽しめるカジュアルでアットホームなライブを鑑賞無料で実施した。</p>							

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
自動販売機設置	4月から1年	相模原市文化会館：8台 小田急相模原駅文化交流プラザ：1台 計9台 令和6年度から相模原市文化会館へ2台追加設置を行った。 初の屋外設置の試みであったが、前年度より5割増の売り上げとなり、市民サービスとして意義ある設置となった。	○
文化会館職員の講師等派遣業務委託	5月18日（土） 11月23日（土）	相模原市青少年学習センターより照明器具操作講習会の講師派遣の依頼を受け、専門知識を有する文化会館職員を講師として派遣する業務を行った。 市民の文化活動支援を目的に、青少年学習センターの利用者に対し舞台照明設備を理解し、安全かつ確実に操作することができるよう、講習を行った。 回数：各日3回（計6回） 参加者：5/18 17名、11/23 11名	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	達成度が109.8%となっていることから「A評価」とする。 98.8%と高い水準を保っており、円滑な施設運営がされていると評価できる。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	施設利用者に対するアンケートの実施 調査手法：利用者へのアンケート用紙配布 調査時期：令和7年1月4日(土)～1月31日(金) 配布枚数：180枚(回収枚数165枚、回収率91.7%)
目標値の基準	5段階評価のうち、「とてもよい」、「よい」、「ふつう」と回答した方の割合の合計

項目 (単位)	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値 (%)	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績値 (%)	99.0	98.8	98.8				
達成度 (%)	110.0%	109.8%	109.8%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
ホームページ お問い合わせフォーム	通年	施設のHPにお問い合わせフォームを設置し、利用者の方が質問や相談をしやすいような取り組みを行っている。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	本体事業収支及び全体収支ともに黒字であるが、団体の経営状況に若干の懸念があることから「A評価」とする。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)		531,180	535,899	544,857
	指定管理料	275,440	275,530	294,940
	利用料金収入	155,195	176,112	174,032
	その他の収入	100,545	84,257	75,884
支出 (b)		536,955	540,717	533,714
	人件費	87,058	87,679	77,275
	本社管理経費	15,075	16,349	14,841
	その他の支出	434,822	436,689	441,598
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		-5,775	-4,818	11,143
自主事業収入 (d)		2,115	2,417	2,857
自主事業支出 (e)		317	282	374
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		1,798	2,134	2,483
全体収支 [(c)+(f)]		-3,977	-2,684	13,626
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	履行管理に関するチェックシートを使用した現地調査、指定管理者へのヒアリング
実施時期	令和7年2月19日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	○
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	○
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	○
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	○
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

令和6年度は、新たな指定管理期間の初年度にあたり、仕様書に定められた事業実施の内容（ア～エ）をふまえ、当財団が独自に名称を付した4つの事業区分「鑑賞事業」「市民参加事業」「次代育成事業」「地域連携事業」をバランスよく展開し、各施設の魅力を市内外に広く発信した。市民文化振興の一翼を担う公益法人として、文化芸術の提供という使命のもと、各目標に基づく施策の実現に向けて積極的に事業を推進した。

また、令和7年1月にはグリーンホール相模大野が開館35周年を迎え、本格的に周年事業を実施する令和7年度に先駆けて、文化会館では記念装飾や関連企画を通じて気運醸成に取り組んだ。

施設管理においては、施設の設置目的や関連条例を十分に理解し、適切な利用事務を遂行するとともに、催し物情報や空き状況をホームページ上で公開し、利用者の利便性向上と利用促進に努めた。結果として、例年同様多くの利用があった。また、施設・設備の維持管理に関しては、日常点検および計画的な定期点検を実施し、安全な施設運営を継続することができた。

令和7年4月1日から施設利用料金が改定されること、また、令和7年6月1日から文化会館多目的ホールの特定天井改修工事が実施されることから、予約が始まるタイミングに合わせて事前に丁寧な告知を実施するとともに、文化会館に隣接するマンション建設に関わる騒音・振動に対する対応についても、利用者への影響が極力出ないよう対策を講じた。

◎主な事業実績

・相模原市文化会館における実績

大ホールでは、市民ニーズの高い舞台芸術公演を多数実施した。具体的には、劇団四季や宝塚歌劇の特別公演（全7公演）を開催し、宝塚関連公演だけで入場者数は1万人を超えた。

また、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の首席ソロ・コンサートマスターである石田泰尚が率いる弦楽合奏団「石田組」の結成10周年記念ツアー公演を実施し、優れた舞台芸術を提供した。当公演は早い時期からチケット完売となり、市民から高い支持を得た。アンコールでは、地元・相模大野駅の列車接近メロディー「ワタリドリ」が演奏され、地域に根差した演出がなされた。

さらに、市制施行70周年・グリーンホール相模大野開館35周年の記念事業として、NHK公開番組「新・BS日本のうた」を誘致。番組内で相模原市の紹介や大風の映像が大きく映し出されるなど、シティブランドの向上に寄与した。

同記念事業の一環として、「第42回相模原市民合同演奏会」を開催。電子オルガンや2台のハーブを取り入れた大規模なクラシック公演を行い、市民に鑑賞機会を提供するとともに、地元団体の活動を支援した。

加えて、地元出身の女流落語家3名による「グリーンホール八起寄席すべしやる」を開催。地元文化人を支援する取り組みとして実施され、マスコミでも大きく取り上げられ、シティセールスにも貢献した。

そのほか、「日本フィルハーモニー交響楽団 相模原定期演奏会」「全日本小中学生ダンスコンクール」「グリーンホール相模大野開館35周年記念 箏×ピアノ×ジャズ LE0 with 林正樹 スペシャル・コンサート」など、ジャンルを問わない多彩な公演を開催し、相模原市の文化的魅力を発信する役割を果たした。

また、積極的に興行公演を誘致したことにより、施設利用率（区分）及び利用料金収入が増加し、当初見込んでいた収支が大きく改善された。

・小田急相模原駅文化交流プラザにおける実績

地域に開かれた文化交流拠点を目指し、新規事業として、財団本部の事業と連携した「学校訪問授業 番外編 おださがっこうVol.1」、杜のホールと連携した「おださがへ行こう！はじめて寄席2024」を実施した。

また、初心者向けヴァイオリン体験「夏休み楽器体験 in さがみはら」や「おださがロードフェスタ前夜祭」など、次代育成事業、地域連携事業を実施した。

◎その他の取組

相模原市が導入した新たな施設予約システム「相模原市文化・産業施設予約システム」による運用を開始し、利用者の利便性向上を図った。また、市内中学校の職場体験や、市内小学校の施設見学の受入れを行うなど、教育現場との連携を推進した。さらに、近隣施設と連携した合同避難訓練を実施するなど、地域コミュニティとの協働体制を強化した。

10 所管課意見

今年度から相模原南市民ホールが単独での指定管理となり、2施設での新たな指定管理期間の初年度だったが、それぞれの施設の特徴を生かした事業展開ができていたと評価する。

利用者数及び利用料金収入ともに前年と比べて大きく増加している。利用率は目標に届かなかったものの、徐々に上がっており、引き続き利用率の向上に取り組んでいただきたい。

事業については、回数・内容ともに充実している。市制施行70周年記念事業の実施やグリーンホール相模大野開館35周年に向けた取り組み、地元団体・文化人の活躍を後押しするなど、地域の文化芸術活動の活性化や次代の文化芸術を担う人材の育成にも貢献している。

積極的な興行公演を誘致したことにより、収支が大きく改善されたことを評価する。自主事業の拡充にも取り組み、全体収支も黒字となっているため、引き続き適切な施設運営に努めていただきたい。

施設管理では、高い利用者満足度を維持しているが、今後もアンケート等を通して利用者ニーズの把握と更なる満足度向上に向けて取り組んでいただきたい。

11 選考委員会意見

相模原市の文化振興を牽引する拠点として充分使命を果たしている。企画提案事業について、知名度の高いアーティストや団体の公演だけでなく、地元の中学生や小学生を対象としたワークショップ等の事業も実施しており、地元根ざした取り組みも増えたことを評価する。今後も市民を取り込んでいくような事業の継続を期待している。
施設の利用率では、文化会館の第2練習室が他と比べると伸び悩んでいるため、新たにピアノを導入するなど工夫をして、利用率が更に伸びていくことを期待したい。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

